



第46期

オンライン開講

国際物流管理士 資格認定講座

International Logistics Master Course

後援：経済産業省・国土交通省

第46期 開催日程 (2024年度)

- 第1単元：9月11日(水)
- 第2単元：9月12日(木)・24日(火)
・25日(水)
- 第3単元：10月9日(水)・10日(木)
- 第4単元：10月17日(木)
- 現地見学：10月24日(木) (東京港・現地)
11月26日(火) (航空貨物施設・オンライン)
- 第5単元：10月18日(金)
11月7日(木)・8日(金)
- 第6単元：11月21日(木)・22日(金)
- 第7単元：12月5日(木)・6日(金)
- 第8単元：1月8日(水)・9日(木)
- 第9単元：2月5日(水)・6日(木)
- 認定証授与式：3月7日(金)

●本講座ではこのような人材を育てます

- ・国際物流の基本から法規制や最新動向まで理解し、海外でのサプライチェーンの構築・改善ができる人材
- ・顧客に対して国際物流を含めた企画提案ができる人材
- ・将来の海外駐在員としてグローバル視点を持ってマネジメントができる人材

●ぜひ、貴社内の国際ビジネス、国際物流、SCMにかかわる部署の方々にも本パンフレットをご回覧ください

【製造業】

国際物流部・グローバル企画部・海外営業推進部・SCM部 等

【物流事業者】

国際事業推進部・グローバル統括部・海外オペレーション部・通関保税部 等

第46期『国際物流管理士資格認定講座』開催にあたって

グローバル化が進展するなか、企業が国際競争を勝ち抜くうえでロジスティクス管理の重要性が高まっています。製造業や流通業等の荷主企業は、グローバルな視点から物流拠点の配置を考え、調達先から消費地までのグローバルロジスティクス構築を目指す必要があります。そのため、国際物流のシステム革新やローコストオペレーションの推進が不可欠です。一方、物流企業は、顧客である荷主のグローバルロジスティクス構築に対して重要な役割を果たしており、荷主の国際物流の見直しや効率化を支援するためのシステム提案が求められています。

さらに、コロナ禍や地域紛争等の影響を受けたサプライチェーン寸断への対応やDX（デジタルトランスフォーメーション）推進、サステナビリティの追求の観点から、これまでの物流の見直しを迫られています。これらの課題に対処するためには、自社や顧客のビジネスを理解し、国際物流の専門知識と管理技術を持つスペシャリストが不可欠です。

「国際物流管理士資格認定講座」は、わが国唯一の国際物流のスペシャリスト育成講座として1979年の開講以降、1,659名の「国際物流管理士」を輩出し、産業界から非常に高い評価を受けています。第46期を迎える本講座は、最新の動向を踏まえつつ、広範な国際物流について概論から応用までわかりやすく解説し、企業事例や物流施設見学、グループ討議、ケーススタディなどを取り入れ、実務に直結するカリキュラムを提供しています。また、すべての単元の講義（演習を含む）をオンラインで受講できます。

国際物流のスペシャリスト育成に、ぜひ本講座をご活用くださいますようお願い申し上げます。



国際物流管理士専門委員会
委員長 林 克彦
(流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学専攻 教授)

国際物流を担う人材に関して、ご要望はありませんか？

- 国を跨ぐ調達・生産・物流といったサプライチェーンの構築・改善について企画・立案・実践・見直しができる人材を育てたい。
- 国際物流の現状を把握した上で、課題の設定や解決に向けた中心的な役割を担うリーダーを育成したい。
- 顧客のニーズを的確に捉え、シーズの発掘を積極的に行うことができる、企画提案力を持った人材を育成したい。
- 顧客に対し、国際物流を含めた複合提案ができるような人材を育てたい。
- 多国間取引の増加に伴い、国際物流の基本や最近のFTA / EPAの条約等の国際法規・ルールを習得した、国際物流のスペシャリストを育成したい。
- 次代の海外駐在員として、各国の物流事情の把握、現地マネジメント手法を身につけた、グローバル視点を持つ人材を育てたい。

本講座では、実務への応用が可能なスキルを身につけていただきます

- 国際物流に関する**専門知識**や**マネジメント技術**、**最新情報**や**企業事例**を総合的に学べます！
- **グループ討議**や**ケーススタディ**を通じて、**実践力**を習得します！
- **様々な業種・役職**の方々との交流を深め、実務では得がたい**ヒューマンネットワーク（人脈）**を構築します！
- **世界**で使える**わが国唯一の国際物流スペシャリストの証「国際物流管理士 International Logistics Master」**の資格が得られます！

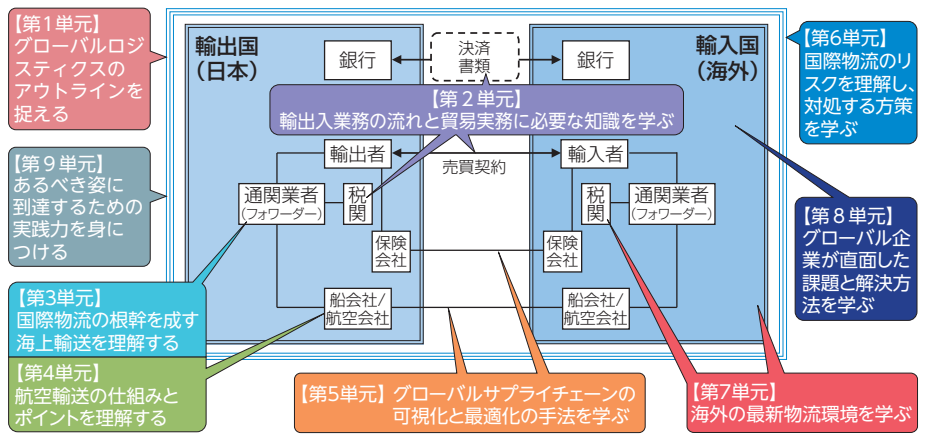
国際物流管理士に期待される到達レベル

- ① 国際物流やグローバルロジスティクスに関する専門知識を有し、実務で活かすことができる。
- ② 自社の物流の現状を把握し、問題発見や解決すべき課題を設定することができる。
- ③ 課題解決策を立案し、国内外問わず、社内外の関係者の理解と協力を得ながら実行することができ、さらにその効果を評価することができる。
- ④ グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画・提案することができる。
- ⑤ 海外赴任先において、異なった価値観や習慣を持つ現地スタッフに対して、指導や権限委譲を行いながら、チームとしてまとめ、実務を遂行することができる。



第46期国際物流管理士資格認定講座カリキュラム

「国際物流の領域」と各単元の位置づけ（日本からの輸出の例）



第46期

国際物流管理士資格認定講座 カリキュラム

* 講師の都合等によりスケジュールに変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

オンライン開催

第1 単元

グローバルロジスティクスのアウトラインを捉える

国際物流から、ロジスティクス、サプライチェーンへの展開を学び、次単元以降の講義を理解するための基盤を作る。またグループ討議を通じて、課題解決への実践的な考え方を学び、受講者間で交流し、多様な立場、役割の理解とヒューマンネットワークの形成を図る。

(敬称略・2024年6月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
2024年 9月11日(水)	9:30~ 9:45	開講式		
	9:45~10:00	講座オリエンテーション	修了要件・認定要件・レポート等、本講座の規程に関する説明をします。	事務局
	10:00~10:20	前期総代による講演	オンライン講座を受講するにあたってのポイント、体験談やアドバイス	石渡 則行 オムロン(株)
	10:30~12:30	国際物流とロジスティクス	物流とロジスティクス、国内と国際の違い、国際物流の形態の変化、マーケティングと物流、国際物流・ロジスティクスのリーダーに求められる知識・能力とは	林 克彦 流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学専攻 教授 (大学院物流情報学専攻長)
	13:30~17:00	グループ討議 国際物流の現状・自社の課題認識と解決の考え方	グローバルサプライチェーンを理解し、国際物流の現状や自社の課題をグループで共有し、原因の分析や解決に向けた取り組みについてグループで討議する。	林 克彦 流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学専攻 教授 (大学院物流情報学専攻長)
	17:15~19:00	キックオフミーティング (交流会)	受講生間での交流の機会 (オンライン)	

オンライン開催

第2 単元

輸出入業務の流れと貿易実務に必要な知識を学ぶ

国際物流の業務に携わるうえで、輸出入業務に関わる通関、条約、インコタームズ、決済、外国為替、国際ファイナンス等事項の理解、習得は不可欠である。本単元では、貿易取引のデジタル化 (Fintech) 等の最新動向を盛り込みながら、輸出入業務について、基礎からわかりやすく解説する。

(敬称略・2024年6月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
9月12日(木)	9:30~13:00	グローバル生産を支えるロジスティクス	海外生産を行う顧客企業の要望に応える為に、国際物流企業はどのような知見が必要かを事例を交え考える。	山内 秀樹 国際物流コンサルタント / 早稲田大学非常勤講師
	14:00~17:00	輸出入における通関業務と保税手続き、通関システム	輸出入通関について、関係法令について、三國間貿易について、輸出貨物の課税価格の決定、確認のポイント、保税制度、非違事例	東京通関業会通関士部会
9月24日(火)	9:30~14:30	貿易売買契約と各種決済方法、外国為替とリスクヘッジ、国際ファイナンス	貿易取引の流れ、信用状統一規則、銀行の外国為替業務輸出入取引の流れと留意すべきポイント、リスクヘッジ	井上 泰伸 日本貿易学会
	14:45~16:15	インコタームズ、ウイーン売買条約	トレード・タームズ (定型取引条件) とは、インコタームズ2020の概要、ウイーン売買条約のポイント	田口 尚志 早稲田大学 商学大学院 商学部 教授
9月25日(水)	9:30~12:30	FTA と EPA、原産地規則、AEO 制度	FTA と EPA とは、EPA のメリット、わが国が締結している FTA/EPA 原産地規則の概要・適用税率、適用の条件、AEO 制度の概要、経済安全保障	宮崎 千秋 (株) 東京共同トレード・コンプライアンス シニアアドバイザー GTRセンター代表
	13:30~15:30	海外コンプライアンス、貿易電子化貿易取引のデジタル化 (FinTech)	海外コンプライアンス (SWIFT 排除、資産凍結など経済制裁) の構造・リスク、貿易取引のデジタル化における FinTech (ブロックチェーン技術) の活用	花木 正孝 近畿大学 経営学部 教授
レポート提出日			2024年10月9日(水) 13:00まで	

オンライン開催

第3
単元

国際物流の根幹を成す海上輸送を理解する

海上貨物輸送は、全世界における貿易の約9割（重量基準）を占めており、国際物流を進めるうえで、その理解は不可欠である。本単元では、国際海上貨物輸送産業の概論から輸送技術、主たるプレイヤーの役割、フォワーダーのデジタル化事例を解説する。（敬称略・2024年6月現在）

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
2024年 10月9日(水)	9:30~12:30	国際海上貨物輸送概論	国際海運業の概要、コンテナ海上貨物の荷動き動向、世界の主要船社・アライアンス、環境対応・デジタルライゼーション対応と海上テロ・海賊対策・共同海損と荷渡	原 源太郎 日本郵船(株) 調査グループグループ長代理
	13:30~15:00	海上コンテナ輸送の仕組み、技術に関して	国際物流に用いる海上コンテナの概要（種類、サイズ、特徴）、取り扱いにおける注意点について（ドライ、リーファー）	浅井 正敏 オーシャン ネットワーク エクスプレッス ジャパン(株) CP本部 SYM 部 M&R 課 課長
	15:10~16:40	フォワーダーのデジタル化動向	グローバルで進んでいるフォワーダーのデジタル化動向を踏まえつつ、デジタルフォワーディングとは何かを解説する。	田阪 幹雄 (株)NX総合研究所 リサーチフェロー
10月10日(木)	9:30~12:00	フォワーダーと NVOCC、国際複合輸送	フォワーダーと NVOCC の違い、国際複合輸送ルートの特徴と問題点、輸入フォワーディング業務の流れ、仲介貿易、運賃	岡 祐子 (株)日新 海上貨物部 部長
	13:00~15:00	海上個品運送契約／船荷証券／Sea Waybill／複合運送証券	運送契約、船荷証券、電子船荷証券、海上運送状、船荷証券統一条約、Japan COGSA の概要、船荷証券約款、複合運送証券	津田 勝也 弁護士法人山口総合法律事務所 弁護士
	15:10~16:40	海上運送における特殊貨物（危険物）概論	危険物海上輸送の基礎知識（クラス・容器等級・試験方法と判定基準等）、容器包装、運送手続き（表示方法・運送書類への記載事項等）、運送方法	細川 満帆 一般社団法人日本海事検定協会 安全技術室 課長補佐
	16:45~17:00	第5単元グループ討議 事前準備レポート出題	第5単元のグループ討議の事前準備レポートについて、事務局よりテーマ等の説明をします。	事務局
レポート提出日			2024年10月24日(木) 13:00まで	

オンライン開催

第4
単元

航空輸送の仕組みとポイントを理解する

商品ライフサイクルの短縮化やグローバルにおける在庫の最小化への対応を進めるうえで、航空貨物輸送の果たすべき役割は大きい。本単元では、航空産業、航空貨物輸送市場の概要、最新動向を解説するとともに、航空輸送の仕組みとそのポイントを解説する。（敬称略・2024年6月現在）

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月17日(木)	9:30~12:30	航空産業概論、航空貨物輸送概論、航空協定	航空輸送の現状、市場、航空輸送の仕組み（メリット・種類・業務フロー等）と輸送環境	(株) ANA Cargo
	13:30~16:30	航空運送約款と航空運送状、航空貨物運賃	航空輸送に関わる条約・約款、運賃の算出方法・Chargeable Weight の決定方法	
レポート提出日			2024年10月31日(木) 13:00まで	

オンライン開催

第5
単元

グローバルサプライチェーンの可視化と最適化の手法を学ぶ

物流・ロジスティクスの高度化を考えるうえで、在庫管理や SCM、3PL は、重要なテーマである。本単元では、それらの理論とともに実例を交えて解説する。また、設定したケースに基づくグループ討議・発表に取り組むことで、情報収集・整理の仕方や、グループでの企画・提案力を身に付ける。（敬称略・2024年6月現在）

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月18日(金)	9:30~12:30	国際物流におけるコストと KPI の算定と既存業務プロセスの見直し	KPI に必要な要素、「現地化」とロジスティクスの転換事例、プラットフォーム戦略、業務プロセス改革担当者の条件、グローバル・ロジスティクスミックス	橋本 雅隆 明治大学 専門職大学院 グローバル・ビジネス研究科 教授
	13:30~15:30	SCM の基礎とその最適化	SCM とは、SCM の重要性、SCM 最適化のためのシステム、SCM 最適化のための可視化・解析・改善方法、SCM 最適化事例	石垣 嘉文 (株)クニエ SCM チーム プリンシパル
	15:40~17:00	グローバルサプライチェーンの各種改善手法	グローバルサプライチェーンの各種改善手法（在庫管理、ミルグラ等）について解説	
11月7日(木)	9:30~12:30	3PL 概論	3PL とは、日本と海外の3PL の現状、なぜ3PL なのか、3PL 化で注意すべき点・必要なこと、国際物流の3PL 化	中谷 祐治 ロジ・ソリューション(株) 常務取締役 戦略コンサル部長
	13:30~15:00	国際物流における3PL 導入事例	荷主から見る3PL 戦略の策定要素・選定基準・審査イメージ、グローバル企業での3PL の選定事例	田中 秀憲 ヴァイトリス製薬(同) ロジスティクス部ディレクター
	15:10~16:40	国際物流における3PL の実践事例	3PL の考え方、国際物流における事例、荷主の課題解決支援プロセス、今後の輸送サービスの展望	森山 秀隆 日本通運(株) モビリティ営業部 専任部長
11月8日(金)	9:30~17:00	グループ討議	設定されたいくつかのケースに基づき、事前準備レポートでの考察を踏まえつつ、グループ内で解決に向けた方策を検討し、発表を行う。	中谷 祐治 ロジ・ソリューション(株) 常務取締役 戦略コンサル部長
レポート提出日			2024年11月22日(金) 13:00まで	

現地 見学会

国際物流の最前線を、見学して感じる

国際の物流施設等を見学することで、輸送機関の特徴や、国際物流における現場、オペレーションに関する理解を深める。

(敬称略・2024年6月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月24日(木)	午後	現地見学／大井埠頭 コンテナターミナル	東京港のコンテナターミナルを見学します。	日本郵船(株)
11月26日(火)	13:30～15:30	現地見学／成田空港 貨物ハンドリング施設	航空貨物のハンドリングをオンラインで見学します。	(株)ANA Cargo

※10月24日(木) 午後のコンテナターミナル見学は、集合開催です。(東京)

オンライン開催

第6 単元

国際物流のリスクを理解し、対処する方策を学ぶ

企業活動におけるリスクマネジメントの重要性はますます高まっている。本単元では、国際物流におけるリスクの概要と、特に重要となる貨物事故防止対策、並びに貿易貨物保険とクレーム手続のポイントについて解説する。

(敬称略・2024年6月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
11月21日(木)	9:30～12:00	リスクマネジメント・BCP 概論	物流に関わるリスクとは、リスクマネジメントとは、基本的な進め方(リスク特定・分析・評価)と留意点、企業の取り組み事例、BCP 概論	田代 邦幸 合同会社 Office SRC 代表
	13:00～16:30	国際物流における リスクマネジメント事情、 リスクマネジメント・ワークショップ	昨今のリスク事象、リスクアセスメントとリスクマネジメントの考え方 グローバル企業にみるリスクマネジメント活動、リスクマネジメントワークショップ	原 敬徳 SOMPO リスクマネジメント(株) コンサルティング統括パートナー
11月22日(金)	9:30～12:30	国際物流のロスプリベンション	現場から見た国際物流クレームの現状とロスプリベンション検討の実例	能勢 正貴 一般社団法人日本海事検定協会 千葉事業所 部長
	13:30～17:00	貿易貨物保険とクレームの実務	外航貨物海上保険の特色、貨物海上契約について(約款の説明)、貨物海上保険におけるリスクの判定と保険料率の算定、クレーム手続	高野 浩司 東京海上日動火災保険(株) 海上業務部 貨物業務グループシニアエキスパート
レポート提出日			2024年12月6日(金) 13:00まで	

オンライン開催

第7 単元

海外の最新物流環境を学ぶ

物流コストを削減しつつ、高品質な国際物流を構築するためには、海外の物流状況を把握することが不可欠である。本単元では、各地域における物流インフラ、通関等の物流事情について、最新事情を盛り込みながら解説する。

(敬称略・2024年6月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
12月5日(木)	9:30～12:00	米国の最新物流事情	米国貨物輸送の概観、物流にとって重要な都市と物流システムの展開、米国の輸出入制度、海外動向把握のポイント	田阪 幹雄 (株)NX 総合研究所 リサーチフェロー
	13:00～14:30	欧州の最新物流事情	欧州における物流事業の取り組み事例、EU の概要と日本との関係、各国のインフラ事情(航空・海上)、地域別の物流事情	藤田 美樹 ライトコンサルティング 代表
	14:40～16:40	中国の国内および ASEAN への物流戦略	中国における国内の物流政策の動向と、一帯一路戦略の今後や、インド、台湾、ASEANとの国際物流政策について解説。	町田 一兵 明治大学 商学部 教授
12月6日(金)	9:30～11:30	インドの最新物流事情	インドの物流について同様の人口を擁する中国の物流と比較しながら、インドの経済成長と物流がどのような関係になっていくかを説明し、インドに進出する際の検討すべきポイントを紹介する。	樋口 恵一 川崎陸送(株) 代表取締役社長
	12:30～14:50	中国の最新物流事情	中国経済と物流事情、中国物流の変遷、中国物流の難しさ、保税制度の重要性、関連規制の説明、事例の紹介	栗田 幸武 (株)アルプス物流 常務執行役員事業本部 部長
	15:00～17:00	ASEAN の最新物流事情	日本・ASEAN を取り巻く現状、ASEAN 新興国が注目される理由、ASEAN 域内の産業別動向(コールドチェーン等)、ASEAN の今後	一般財団法人運輸総合研究所 アセアン・インド地域事務所

第8
単元

グローバル企業が直面した課題と解決方法を学ぶ

経済成長が著しい中国や東南アジア等の新興国では、現地における物流拠点の構築・マネジメントの重要性がますます高まっている。本単元では、これらの取り組みを進めるうえでのポイントについて解説する。また、駐在経験者による座談会を通じて、受講者のグローバル意識を高める。
(敬称略・2024年6月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
2025年 1月8日(水)	9:30~12:30	SCMの視点から取り組む海外現地における改善活動	各地で直面していた物流課題と解決に向けた取り組みの紹介 SCM・ロジスティクス管理のあり方・業務診断のチェックポイント	魚住 和宏 SCMソリューションデザイン 代表/ 神奈川大学 経済学部 非常勤講師
		海外駐在における駐在員の役割と心得	駐在員の役割 (簡単な財務分析手法、物流管理のあり方)、 海外駐在員が遭遇しやすいリスク (私生活・仕事) への対応	
	13:30~15:00	グローバルサプライチェーンとテクノロジートレンド	EC市場の成長や、デジタル化、労働力不足、サステナビリティという文脈のなかで、倉庫の自動化等における最新テクノロジー活用の取組みについて、解説する。	武田 一哉 ソフトバンクロボティクス(株) ロジスティクス事業本部 事業推進統括部 統括部長/国際物流管理士
1月9日(木)	15:10~16:40	駐在経験者による座談会	海外駐在経験者による現地での経験 (気づき、現地経営の工夫) やキャリアに関する生の声を聞き、全体討議を行うことで、国際物流のスペシャリストとしてグローバル意識を高める。	桜井 正応 (株)日新 欧州統轄 ベルギー・日新 オーストリア日新 社長 中丸 睦美 三菱電機トレーディング(株) ロジスティクス部 部長代理/国際物流管理士 北崎 淳 NXアメリカ株式会社/国際物流管理士 飯塚 和彦 (公社) 日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 第2部部長
	9:30~10:30	客観試験	第2~6単元までの各講義内容から出題	事務局
	11:00~12:30	電機産業におけるグローバルロジスティクスの改善事例	企業活動のグローバル化が進むなかで、直面する課題解決のために取り組んできたグローバルロジスティクスの改善内容を事例をあげて解説する。	脇田 哲也 SBS 東芝ロジスティクス(株) 物流改革推進部 企画担当 参与
	13:30~15:00	アパレル産業のグローバル・サプライチェーン構築における物流サステナビリティへの要請	アパレル産業におけるグローバルサプライチェーンについて	山内 秀樹 国際物流コンサルタント/早稲田大学 非常勤講師
15:10~16:40	自動車のグローバルサプライチェーン事例	自動車のグローバルサプライチェーンについて	中村 吉明 専修大学 経済学部 教授	

オンライン開催

第9
単元

あるべき姿に到達するための実践力を身につける

グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに据えたケーススタディにグループで取り組む。サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法を学ぶ。
(敬称略・2024年6月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
2月5日(水) 2月6日(木)	9:30~17:00	ケーススタディ 「グローバルロジスティクス改革」	グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに、サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法をグループ討議を通じて学ぶ。	魚住 和宏 SCMソリューションデザイン 代表/ 神奈川大学 経済学部 非常勤講師

JILS 研修室 (東京)



資格認定証授与式

当講座の修了基準を全て満たした受講者には、「国際物流管理士 (International Logistics Master)」の資格を授与する (累計取得者数:1,659名、2024年3月末現在)。

日程	時間	講義テーマ	講師
3月7日(金)	15:00~17:30	資格認定証授与式 / 懇親会	委員長、副委員長

※資格認定証授与式は、JILS 研修室で実施予定です。

本講座
の受講
イメージ



▶ 講義



▶ 現地見学

※本講座の講義 (グループワーク含む) はオンラインで行います。現地見学はオンラインまたは集合で行います。

資格認定について

修了基準

- i) 14日以上出席すること。
- ii) 該当する単元で出題されるレポート試験を全て受験していること。
- iii) 客観試験を受験していること。
- iv) 第9単元「ケーススタディ」に2日間出席すること。

合格基準

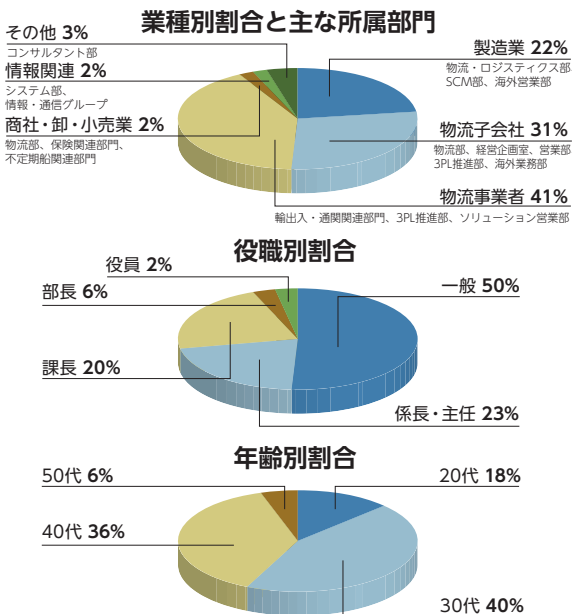
	①レポート試験（5回）					②客観試験	③欠席減点	④総合平均点 ((①+②)÷6)-③
	第2単元	第3単元	第4単元	第5単元	第6単元			
配点	100点	100点	100点	100点	100点	100点	1日欠席：1点減点 半日欠席：0.5点減点	100点
合格基準	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上	70点以上		70点以上
提出日 / 実施日	10月9日(水)	10月24日(木)	10月31日(木)	11月22日(金)	12月6日(金)	1月9日(木)		

※資格認定規程の詳細は、講座の開講時に、事務局よりご説明いたします。

講座受講者の所属（例）▶

製造業：国際物流部・グローバル企画部・海外営業推進部・SCM部 等
 物流事業者：国際事業推進部・グローバル統括部・海外オペレーション部・通関保税部 等
 ぜひ、貴社内の国際ビジネス、国際物流、SCMにかかわる部署の方々にも本パンフレットをご回覧ください。

過去5年間の国際物流管理士資格認定講座 受講者属性



国際物流管理士資格認定講座 資格取得者の声

石渡 則行氏 (オムロン株式会社 グローバル購買・品質・物流本部物流統轄室国際物流部プロセス革新グループ)

オムロン株式会社は、オートメーションのリーディングカンパニーとして、工場の自動化を中心とした制御機器、電子部品、駅の自動改札機や太陽光発電用パワーコンディショナーなどの社会システム、ヘルスケアなど多岐にわたる事業を展開し、約130の国と地域で商品・サービスを提供しています。私の部署では、事業収益の向上とサステナビリティを両立した物流の実現を目指し、グローバルの生産工場と販売会社間の国際輸送の管理・改善を日々行っています。コロナ禍によって激変した国際物流環境下で既存の仕組みを見直し・効率化するため、サプライチェーンにおける国際物流改善の基礎から応用まで総合的に学べる本講座を受講しました。

講座では、経験豊富な講師陣から国際物流の基礎、SCM、リスクマネジメント、グローバル改善事例まで幅広く学ぶことができました。課題解決のグループ討議を通じて、様々な視点からの改善アプローチの重要性についても理解を深めることができました。物流事業者やメーカーなど立場の違う受講者同士との意見交換からは、数多くの新たな洞察を得ることができ、非常に刺激的でした。受講仲間とのつながりは、自身の成長にとっても価値あるものとなりました。また、ほぼオンラインでの受講が可能であったため、遠方からの受講もスムーズに行え、業務への影響も最小限に留まりました。

今後も国際物流のスペシャリストとして活躍していくため、さらなる知識と経験の積み重ね、及び実務での応用力を強化していき、社内外の国際物流に対して積極的に貢献していきたいと思っています。

国際物流管理士専門委員会 委員名簿

本講座は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催し、第一線で活動している学識経験者や実務家で構成された国際物流管理士専門委員会によって企画・運営されています。

(敬称略・順不同・2024年6月現在)

委員長	林 克彦	流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学研究科 教授 兼 大学院物流情報学研究科長
副委員長	魚住 和宏	SCMソリューションデザイン 代表/神奈川大学 経済学部 非常勤講師
副委員長	田阪 幹雄	(株)NX総合研究所 リサーチフェロー
委員	栗田 幸武	(株)アルプス物流 常務執行役員事業本部長
委員	星野由美子	(株)イトーヨーカ堂 海外部 総括マネージャー
委員	寺尾 豊	(株)ANA Cargo 取締役 業務企画部門担当 業務企画部長
委員	石原 伸志	神奈川大学 アジア研究センター 客員研究員
委員	山内 秀樹	国際ビジネスコンサルタント/早稲田大学 非常勤講師
委員	中村 吉明	専修大学 経済学部 教授
委員	武田 一哉	ソフトバンクロボティクス(株) ロジスティクス事業本部 事業推進統括部 統括部長
委員	高野 浩司	東京海上日動火災保険(株) 海上業務部 貨物業務グループ シニアエキスパート
委員	桜井 正応	(株)日新 欧州統轄 兼 ベルギー日新 オーストリア日新 社長
委員	岡田 哲郎	日本郵船(株) 法務・フェアトレード推進グループ グループ長代理
委員	能勢 正貴	(一社)日本海事検定協会 千葉事業所 部長
委員	梶原 幸絵	(株)日本海事新聞社 編集局 編集部 記者・コンテナ物流チームリーダー
委員	石川 雅啓	(独)日本貿易振興機構 海外ビジネスサポートセンター 貿易投資相談課 課長代理/グローバルBiz専門職大学 教授/流通経済大学 非常勤講師/東京海洋大学 非常勤講師
委員	味水 佑毅	流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学研究科 教授

受講申込書

申込FAX:(03)3436-3190

第46期国際物流管理士資格認定講座				開催期間:2024年9月~2025年3月				BA2412	
(フリガナ) 会社・事業所名		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 会員外		支払予定日 (開催後になる場合はご記入をお願いいたします) 月 日 支払予定					
(フリガナ) 派遣責任者		所属・役職名							
勤務先住所 〒 -		TEL: - - FAX: - - E-mail:							
(フリガナ) 受講者1		生年月日 (西暦) 年 月 日		所属・役職名		受付 NO			
勤務先住所 〒 -		TEL: - - FAX: - - E-mail:							
有資格: <input type="checkbox"/> 物流技術管理士補 <input type="checkbox"/> 物流技術管理士 <input type="checkbox"/> グリーンロジスティクス管理士 <input type="checkbox"/> 物流現場改善士									
申込する単元 (※単元聴講の場合のみ)									
1	2	3	4	5	6	7	8		
円 複数名の受講申込の場合は、複写してご利用ください。 合計人数を、欄「協会への連絡事項」に記載ください。(例:全3名申込)									

協会への連絡事項

受付日	請求日	請求番号

受講申込規程

●受講料

- ◆当協会会員 受講料440,000円(税込) / 1名
- ◆会員外 受講料550,000円(税込) / 1名

●有資格者優待

- 当協会の認定する下記資格を持つ方は優待料金にて受講いただけます。
(対象:「物流技術管理士補」「物流技術管理士」「グリーンロジスティクス管理士」「物流現場改善士」)
- ◆当協会会員 受講料385,000円(税込) / 1名
 - ◆会員外 受講料495,000円(税込) / 1名

●単元聴講

特定の単元のみご受講いただくことができる制度です(第1・9単元を除く)
現地見学(東京港)は第3単元、オンライン現地見学(成田空港)は、第4単元に付随するプログラムです。(1単元・1名様あたりの金額:消費税込み)

- ◆当協会会員 第2・5単元...82,500円/単元 第2・5単元以外の各単元...55,000円/単元
- ◆会員外 第2・5単元...92,400円/単元 第2・5単元以外の各単元...61,600円/単元

●受講料に含まれるもの ①テキスト、資料代 ②審査料

●定員 36名(定員になり次第締切:最少催行人数18名)

●受講申込方法

◆WEBまたはFAXで受け付けています。

WEBの場合 当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

トップ → 事業案内 → 講座・コース → 国際物流管理士資格認定講座

※当協会のホームページは www1.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

●FAXの場合

- ◆上記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。
- ◆本講座の受付は、先着順、定員になり次第、締切ります。あらかじめご了承のほど、お願い申し上げます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

【開講日直前のお申し込みについて】

◆定員に余裕のある場合は直前での受付も行いますので、事務局までお問い合わせください。

●受講料支払い方法

- ◆WEB 請求書で請求いたします。
- ◆WEB 請求書は原則として派遣責任者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- ◆WEB 請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- ◆お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。(開催後になる場合は、参加申込書の支払い予定日欄に明記してください。)
- ◆振込手数料はお客様にてご負担願います。

【お願い】

◆開講前に受講予定の方のご都合がつかなくなった場合は、全単元を代理の方が受講してください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。(注)受講申込をキャンセルする場合は、お問い合わせ先にお申し出ください。

【キャンセル規定】

- ◆開催7日前~前々日(開催初日を含まず起算)(消費税を除く)受講料の30%
- ◆開催前日および当日.....(原則として消費税を除く)受講料の全額

●受講のお申込にあたって(お申込み前に必ずご確認ください。)

【オンライン開催での受講について】

日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILS オンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと(※)」及び、以下の事項を確認のうえ、お申込みください。
(※URL: <https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>)

- ◆本講座の受講者は、申込時に登録した方に限定し、1名につき1台のデバイス(パソコン)で参加とします。
- ◆本講座の受講者による録画、録音、撮影(スクリーンショット等含む)は禁止します。
- ◆テキストは各単元の開講日前に電子データ(PDFファイル等)で受講者に配付します。
- ◆受講者により、円滑な運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。
- ◆本講座はインターネットを利用したライブ配信にて行います。ライブ配信中に、通信の断続的な途絶など、ライブ配信の継続が不可能だと主催者が判断した場合は、ライブ配信を中止する場合があります。主催者に起因する事由や不測の事態により、ライブ配信を中止した場合、当該内容の録画配信や代替日での実施等の代替措置を講じます。
- ◆受講者に起因する事由により通信が途絶した場合は、主催者は責任を負わないものとします。

【Zoomについて】

- ◆本講座は Zoom ミーティングもしくはウェビナーを利用して実施します。開講前に受講で利用するデバイス(カメラやマイク機能のあるパソコン)にミーティング用 Zoom クライアントをインストールのうえ、Zoom 接続テスト URL(※)にアクセスし、受講に支障がないことを確認してください(Zoom クライアントが利用できない場合は、受講いただけません)。開講前のインストール、接続テスト、Zoomの基本的な機能の把握をお願いいたします。(※Zoom接続テストURL <https://zoom.us/test>)

【Microsoft Office について】

- ◆グループ討議など演習にて、Microsoft Office (Word や Excel、PowerPoint) を使用します。これらのアプリケーションを利用できるデバイス(パソコン)にて受講ください。

●申込先/本講座の内容に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS) JILS 総合研究所
〒105-0022 東京都港区海岸 1-15-1 スズエベイディウム
WEB(国際物流管理士資格認定講座):
<https://www1.logistics.or.jp/education/ilm.html> E-mail: ilm@logistics.or.jp

●会場案内:第46期はオンライン開講です

- ◆Web 会議サービス「Zoom」を利用したリアルタイム配信を行います。
- 「国際物流管理士資格認定講座」ホームページ
<https://www1.logistics.or.jp/education/ilm.html>

◆個人情報のお取扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。お客様にご記入いただきました個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の開催催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

JILS ホームページ <https://www1.logistics.or.jp>